

## 執筆者紹介

皇帝陵と兵馬俑』

濱島敦俊 Hamashima Atsutoshi

一九三七年生まれ。大阪大学名誉教授、台湾・国立暨南国際大学教授。中国近世史。『明代江南農村社会の研究』『総管信仰—近世江南農村社会と民間信仰』『華中・南デルタ農村実地調査報告書』

馮賢亮 Feng Xianliang

一九七一年生まれ。復旦大学歴史系教授。中国歴史地理、江南地区史、中国社会経済史。『近世浙西の環境、水利与社会』『太湖平原の環境刻画与城鄉変遷(一三六八—一九一一)』『万曆年間江南の大水災与社会反応』

森田 明 Morita Akira

一九二九年生まれ。大阪市立大学名誉教授。明清社会経済史、中国水利史。『清代水利史研究』『清代水利社会史の研究』『清代の水利と地域社会』

張 俊峰 Zhang Junfeng

一九七六年生まれ。山西大学中国社会史研究中心副教授。中国近代社会史、環境史。『水利社会の種類—明清以来洪洞水利与鄉村社会変遷』『明清中国水利社会史研究的理論視野』『前近代華北鄉村社会水権的表達与实践—山西「灤池」の歴史水権個案研究』

森久男 Mori Hisao

一九四九年生まれ。愛知大学経済学部教授。中国経済史。『徳王の研究』『日本陸軍と内蒙古工作』『徳王自伝』(翻訳)

松田吉郎 Matsuda Yoshio

一九五〇年生まれ。愛媛大学法文学部教授。中国古史。『中国古史国家と郡県社会』『中国古史国家と社会システム』『司馬遷の旅』

鈔 曉鴻 Chao Xiaohong

一九五〇年生まれ。兵庫教育大学教授。中国水利史。『明清時代華南地域史研究』『台湾原住民と日本語教育』『寧波地域の水利開発と環境』

岡本信広 Okamoto Nobuhito

一九七八年生まれ。三重大学非常勤講師。日中戦争史。『華中特務工作』秘蔵写真帖』

鶴間和幸 Tsuruma Kazuyuki

学習院大学文学部教授。中国古史。『秦の始皇帝』『ファーストエンペラーの遺産』『始皇帝』

野口 武 Noguchi Takeru

一九六八年生まれ。廈門大学歴史系教授。明清史、特に明清社会経済史、環境史。『生態環境与明清社会経済』『明清史研究』『環境与社会』

一九六七年生まれ。大東文化大学国際関係学部准教授。中国経済論、産業連関分析、地域経済学。『中国西南地域の開発戦略』『中国経済の勃興とアジアの産業再編』『Spatial Structure and Regional Development in China』

岡崎清宜 Okazaki Kiyonobu

一九七三年生まれ。愛知県立大学非常勤講師。中国近現代経済史。「恐慌期中国における信用構造の再編―一九三〇年代華北における棉花流通・金融を中心に」「国民政府下中国における信用機構の再編―上海金融恐慌と貨幣市場を中心に」

松本ますみ Matsumoto Masumi

敬和学園大学教授。中国の国民統合。『中国民族政策の研究』『イスラームへの回帰』『孫中山の「徹底した民族主義」』

樋泉 克夫 Hizumi Katsuo

一九四七年生まれ。愛知大学現代中国学部教授。京劇史、華僑・華人史。「死体」が語る中国文化』『華僑烈々』『京劇と中国人』

楊海英 Yang Haiying

一九六四年生まれ。静岡大学人文社会科学部教授。文化人類学。『モンゴルとイスラーム的中国』『墓碑なき草原―内モンゴルにおける文化大革命・虐殺の記録』

馬場毅 Baba Takeshi

一九四四年生まれ。愛知大学現代中国学部教授。中国近代史、日中戦争史、日中関係史、中国水利史。『近代中国華北民衆と紅槍会』『改革・変革と中国文化、社会、民族』『共編著』『中国八路军、新四軍史』(共著)

## 翻訳者紹介

加藤 紀子 Kato Noriko

一九八三年生まれ。中部大学第一高等学校非常勤講師。中国近現代史。「杜月笙と上海社会及び国民政府との関係に就いて」

訂正

Vol. 36

112頁上段6行目

北京市政府↓台北市政府

119頁上段24行目

長春台湾同協会↓長春台湾同郷会

以上、お詫びして訂正いたします。

## 中国21 Vol. 38 予告(13年3月刊行予定) 特集●中国企業の競争力(仮題)

十三億の人口を抱える中国は、経済の目覚ましい発展により、「世界の市場」としての存在感を高めている。各国企業も中国市場にさまざまな商品进行投入し、しのぎを削っている。中国企業も「自主创新」の旗のもと、着実に実力をつけ、市場獲得レースに参戦するまでになった。そのなかには、アフリカや東南アジアなど海外進出(「走出去」)を果たし、新規市場を開拓する企業もみられる。

「世界の工場」と称されてきた中国にとって、その競争力の源泉は労働力の優位性を活かしたローエンド製品であった。しかし近年、後進国から激しい追い上げを受け、「量から質へ」「労働集約型産業から技術集約型産業へ」といった産業の高度化を迫られている。

本特集では、日中の中国産業・企業の専門家に、主要産業にみる中国企業の競争力について多面的に論考してもらい、今後中国が「製造強国」として新たなステージに踏み出せるのかを描き出していきたい。

【論説】苑志佳、大原盛樹、賈保華、金堅敏、駒形哲哉、趙英、中川涼司、服部健治、渡邊真理子ほか